



月目標を意識し、自己を高める！

2学期がスタートし、半月が過ぎました。

概ね順調に、教育活動の諸計画が進んでいます。全校児童が楽しみにしている「秋季大運動会」の練習もスタートしました。今年は9月に入っても暑い日が続いていますので、熱中症指数を確認しながら児童に危険がないように先生方には細心の注意を払ってもらっています。

大運動会の行動ともつながりますが、本校の9月の目標は「**大きな声で返事をしよう**」となっています。早速、始業式のあとの集会で、5年担任の福嶋香織先生が「**なぜ返事をするのは大切なのか？**」という話をしてくださいました。学習の場面で、**理解できているかどうかを確認するため**にも必要であるという説明があり、納得しました。



さらに、昨年度から本校で取り組んでいる「スクールワイドPBS」の9月の取組についても、2組担任の柳田京子先生がの話をしてくださいました。

スクールワイドPBSとは？

児童の問題行動に対して、罰を与えたり、叱ったりするのではなく「**適切な行動を増やす**」という観点から、ポジティブな行動支援を**全児童を対象に実施**する組織的なアプローチのことで、

実践行動目標は「**背中をピンと伸ばして、正しい姿勢で学習しよう**」です。「**なぜ**その行動が大切なのか？」を理解した上で、取組状況のよい点を評価する（褒める）ことで、モデルとなる行動ができるようになることを目指しています。

様々な行動をするとき、「**なぜ**」ということを考えることは自己を高めるためには大切なことです。それは、「**なぜ**」ということを明らかにすることによって、**行動に必然性が出てくるから**です。

今年の4月に、6年生が受けた全国学力学習状況調査の児童質問紙の結果を見ると、

- 自分には、よいところがありますか。
- 先生は、あなたのよいところを認めていると思いますか。
- 困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人に相談できますか。

は、全国や宮崎県の回答に比べ、肯定的な（高い）結果が出ていました。

その一方で、

- 将来の夢や目標をもっていますか。
- は、否定的な（低い）結果が出ていました。

これから本格化する秋季大運動会やその他の学校行事、日々の学習（授業）において、「**なぜ**」という**本質を考えながら成長すること**を期待しています。

作品公募 結果が楽しみです

八代小学校の先生方が8月の登校日以降に頑張っておられたことに、作品公募の集約がありました。

夏休みに児童が頑張った習字、絵画、作文、工作、自由研究などを振り分け、出品表を付けて応募されています。

作品を見せてもらったところ、多くの力作があり、嬉しく思いました。今後、よい結果が届くのではないかと思います。

1学期に応募した「国富町ふれあい短歌大会」では、1年生の塩屋望兔さんと東茉璃さんが佳作に入賞し、始業式の際に表彰状と賞品をお渡ししました。



立派な態度で賞状を受け取ることができましたね。



また、表現活動の一環として応募している宮崎日日新聞の「若い目」には、4月以降、6年生の今村妃那さん、深江愛美さん、4年生の横山りんさん、2年生の椋内咲来さんが掲載されています。（「茶の間」には、保健室の湯浅佐代子先生も掲載されました。）作品は、校長室前に掲示していますので、学校に来られた際にはご覧ください。

校長としては、年間10作品の掲載を目標としています。今、ちょうど半分です。

夏休みに応募した作品の結果が届きましたら、紹介させていただきます。

先生方も勉強しています！



13日に3年生の教室で算数の研究授業がありました。今年赴任された橋口みゆき先生は講師の経験が豊富ですが、新規採用1年目の初期研修を受けておられます。その一環として、八代小学校の先生方が授業参観をした後で、参考になった点や改善したほうがよりよくなる点を話し合う研究会を行い、今後のひとりひとりの授業に生かしていくことにしました。「あまりのある割り算」の単元で、

17人の子どもの長いす1きやくに3人ずつすわっています。みんなすわるには、長いすが何きやくいりますか。

という類いの問題に挑戦しました。

「 $17 \div 3 = 5$ （きやく）あまり2（人）」

「あまりの2人もすわらせるためには、もう1きやくいすがあるので、 $5 + 1 = 6$ で答えは6きやくになる」というような学びです。

このことを学習する過程では、**課題を①「ひとりで」②「グループで」考える機会を自己決定（選択）させる工夫**がありました。このことによって、子どもたちが、課題に向かって、主体的、対話的に考える姿が多く見られ、継続することの大切さを感じました。